

ホバーマット® 使用説明書

Q&A

- Q: ホバーマットの最大積載重量は？
 A: 体格にあわせた幅広のマットを用いると544kgで対応できます。
- Q: ホバーマットはラテックスフリーですか？
 A: はい、ラテックスフリーです。
- Q: ホバーマットはFDAの承認を取得してますか？
 A: アメリカではクラスIIの医療機器として承認済ですが、日本では医療機器に非該当。

				Trouble Shooting トラブルシューティング
パネルのサインが点灯しない	エアの吹き出しがない	ボタンが作動しない	マットに十分な圧がかからない	
X	X	X		電源差し込み口を確認する 電源コードとエアサプライの接続を確認する エアサプライ後部にあるブレーカーを確認する
X				修理依頼をしてください
	X			修理依頼をしてください
		X		修理依頼をしてください
			X	マットとエアサプライのホース接続部を確認する ホースに裂けや破損がないか確認する マットに裂けや破損がないか確認する エアサプライのフィルターに汚れがないことを確認する

保証

- エアサプライ: 販売日より1年間。
 マット: 毎日使用しておよそ3か月使える耐久性。

修理

- エアサプライ: 上表で確認し該当する場合は購入店を通し修理依頼してください。
 マット: 消耗品のため修理対応はありません。



ホバーマットは水平移動や体位交換の補助をするシステム
 放射線透過性があり、アーチファクトを生じさせない
 画像診断、放射線治療、MRIで、横たわったままで移動
 患者の最大荷重は544kg、体格の大きさに応じ、4サイズを用意
 エアサプライから低圧空気が送り込まれ患者がホバーマットに横わったままマットが膨らむ
 マットの裏面の無数の小孔から空気が噴き出し、包まれるように患者が持ち上がる
 噴出した空気層が潤滑の役割を果たし、患者移動に要す力を減少
 スタッフの労力や緊張が軽減され、けがの危険も提言
 ホバーマットを使うと、患者体重のおよそ10%の力で移動ができる
 常に使い続けると患者移動や体位交換によるスタッフの腰痛を確実に減少
 さらに、より少ない人員で快適な患者移動を実現



患者さんと医療者、ともにうなずける、安心、安全、安堵の医療をお届けします

株式会社 名優 276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台3-9-2

Tel: 047-480-6161 <http://www.meilleur.co.jp>

ホバーマット® 使用上の注意

適応

- ・自分自身で水平移動ができない患者。
- ・体重や体格が大きいため、体位交換や水平移動を行うスタッフに健康被害を生じさせる危険がある患者。

禁忌

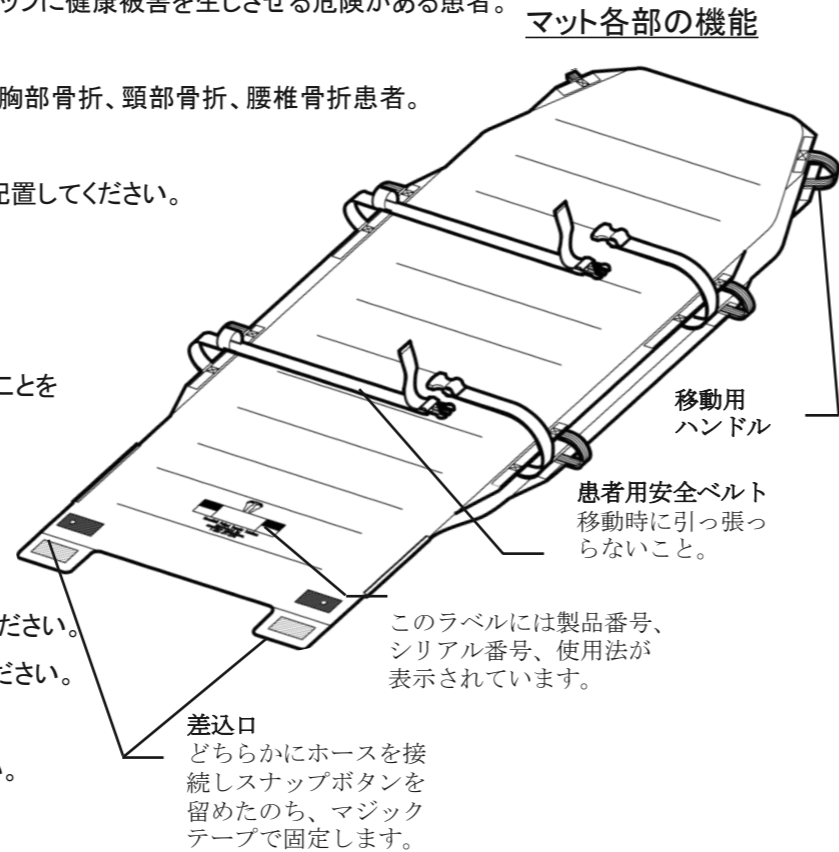
- ・ホバーマット上で脊柱ボードの併用がなければ、安定しにくい胸部骨折、頸部骨折、腰椎骨折患者。

警告

- ・安全のため必ず患者の両脇にスタッフ1名ずつ(計2名以上)配置してください。
- ・エアサプライに電気ショックを与えないでください。
- ・エアサプライを分解しないでください。

注意

- ・移動前、どんなキャスターであってもブレーキがかかっていることを必ず確認してください。
- ・体重340kg以上の患者を移動させる場合には、必要に応じてスタッフを追加配置してください。
- ・電源コードは危険がないように配線してください。
- ・ホバーマットを膨らませた状態で患者を絶対に放置しないでください。
- ・脱気状態で患者が乗ったホバーマットを動かそうとしないでください。
- ・エアサプライのフィルター部をふさがしないでください。
- ・本製品は使用説明書に書かれた用途のみに使用してください。
- ・付属品は製造元が指定するものを使用してください。
- ・低いベッドに移動させるときには、送気レベルを最高に設定し、マット底面がしっかりと張るようにしてください。
- ・MRIでホバーマットを使用する際には、9m長の専用ホースを使ってください。
- ・【手術室での注意】安全のため患者とホバーマットを手術台に移動させてから、手術台の角度を変更してください。
また手術中は患者が滑らないように、ホバーマットを脱気させておいてください。



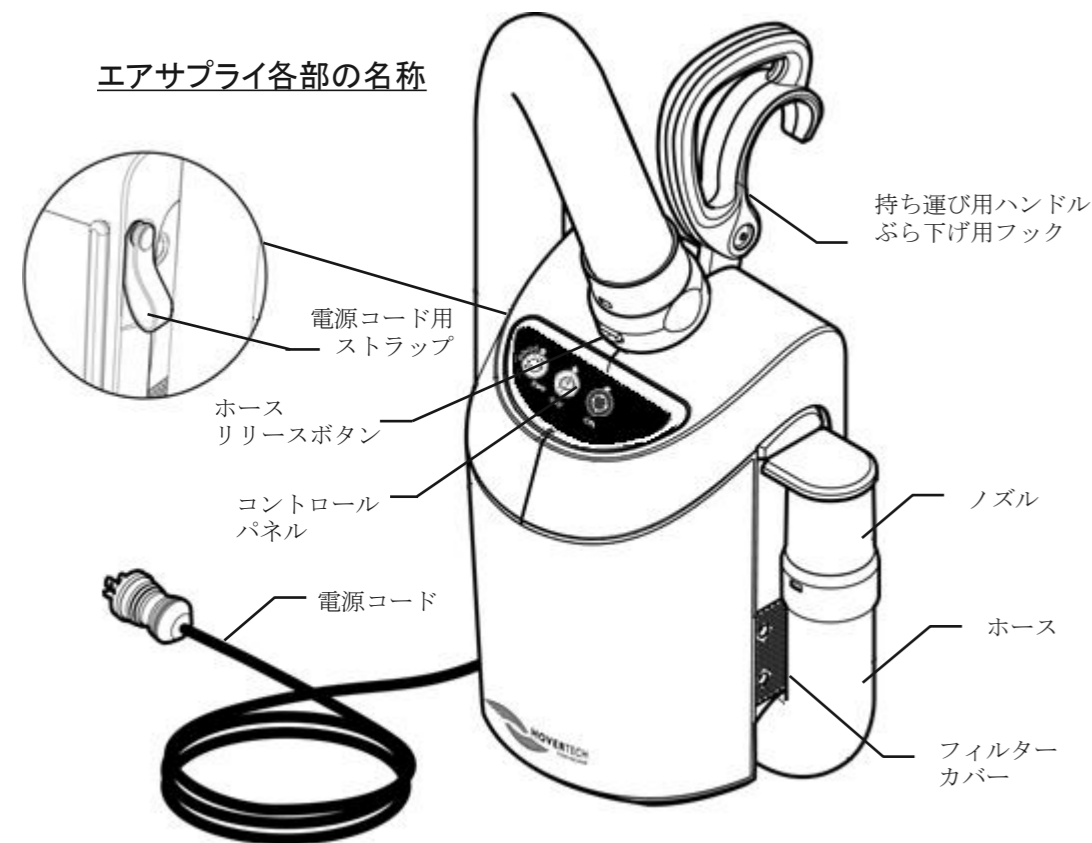
エアサプライ仕様

稼働温度: 10℃ ~ 40℃
 稼働湿度: 10% ~ 70%
 保管温度: 10℃ ~ 40℃
 保管湿度: 10% ~ 70%
 電源: 100V, 50/60Hz, 10A
 寸法: 31.75 x 17.8 x 17.8 cm
 重量: 5kg
 電源コード長: 457 cm

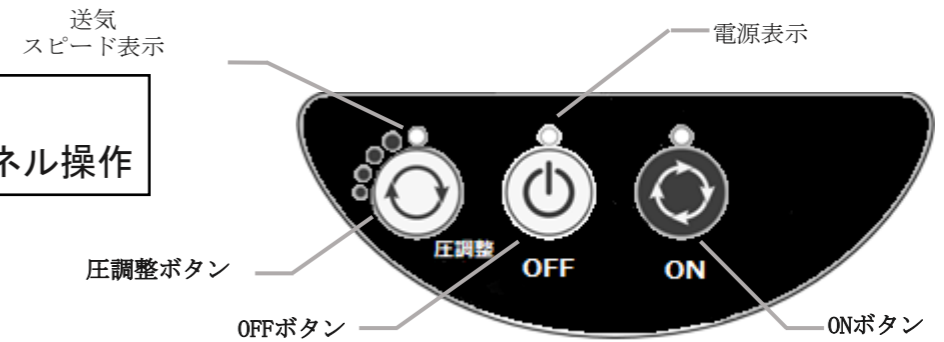
マット仕様

素材: ナイロン・不織布
 寸法: 34インチ・86cm x 198cm
 39インチ・99cm x 198cm
 50インチ・127cm x 198cm

エアサプライ各部の名称



エアサプライコントロールパネル操作



- 圧調整ボタン**: 1回押す度に送気圧と膨張率が高くなり、送気スピードを4段階に調整できます。1番上のレベルまでいき、もう一度押すと1番弱いレベルに戻ります。左のLED緑色ランプの点灯位置が送気レベルに対応しています。(例)2つ目が点灯していれば、送気は2レベル
 ※OFFボタンはいつでも押して送気を止めることができます。
 ※圧調整ボタンのいずれの設定であっても、ONボタンの送気よりは小さくなります。
- OFFボタン**: 送気を停止するときを使用します。上のランプが点灯しているとスタンバイ状態であることを示します。
- ONボタン**: 送気に使用します。

使用方法(移乗)

1. 適当な幅のマットを選び患者を水平に横たえます。
2. 患者をログロールして下にマットを敷きこみます。
3. コンセントに電源コードをつなぎます。
4. エアサプライのノズルをマット差込口に差し込みスナップボタンをはめます。
5. できるかぎり移動先を近づけ、ベッドやストレッチャーのキャスターにブレーキをかけます。
6. 高い位置から低い位置に移動するよう心がけます。
7. ONボタンを押します。(ゆっくり送気したい場合は圧調整ボタンを押します。)
8. 移動用ハンドルをしっかりつかみ、足側から適切な位置に移動してください。
9. 患者の位置が移動先のベッドやストレッチャーの正中位になるように注意してください。(特にマットレスの幅が狭い場合)
10. OFFボタンを押して脱気してください。

フィルターの手入れ

1. プラスのドライバーを用い、フィルターカバーを外してください。
2. フィルターは、ぬるま湯で洗い流し十分乾燥させて使用してください。
エアフィルターが傷んでいる場合には新しいものと交換してください。
3. 乾燥させたフィルターとフィルターカバーを取り付けてください。

